

平成25年（2013年）第4回市議会定例会本会議（12月12日）

### 予算決算常任委員長報告（議案）

ただいま議題となっております議案のうち、予算決算常任委員会に付託されました議案第120号から第122号まで、第126号、第128号、第129号、第134号、第136号から第140号まで、第144号、第146号から第148号まで、第150号から第155号まで、第157号、第160号及び第162号の以上25件につきまして、委員会における審査の経過と結果を報告します。

委員会は、11月27日会議を開き、担当する各分科会に付託議案を送付することを決定、11月28日及び12月3日に、分科会を開会し、詳細な審査を行いました。

これを受け、委員会は、12月10日会議を開き、各分科会委員長の報告を聴取しました。

次いで、質疑及び総括質疑はなく、討論において、小林伸行委員から議案第129号横須賀市下水道条例中改正について、本案は、基本料金から従量料金まで、全てを一律に17パーセント値上げするという方法で、配慮に欠けると感じる。現在は、2カ月で20立方メートルまでは基本料金に含まれるという基本水量が設定された料金体系である

が、20立方メートルも使わない世帯も多い。基本水量を廃止するか下げること、節水すればするほど節約できるようにすべきである。

また、本市の従量料金は累進性になっており、他市と比べても逓増度が高い。そのため一律に17パーセント値上げすると、大口になればなるほど、累進して影響を受ける。これでは、企業誘致を阻害し、市外移転を促進することになりかねない。

しかし、今回本案が否決されれば、資金不足が深刻になるので、多少、問題のある料金体系ではあっても、現行のままよりは良い選択であることから、次回の改定時に議論を深める決意をして、議案第129号に賛成する」旨の意見に加えて、「本市議会における議案等の審査は市民に開かれておらず、あたかも正式な場での審査の前に、すでに決しているかのごとき印象を与える発言」があった。

採決の結果、議案第121号、第122号、第134号、第136号、第138号、第139号、第144号、第146号から第148号まで、第150号から第155号まで、第157号、第160号及び第162号の以上19件は全会一致で、議案第120号、第126号、第128号、第129号、第137号及び第140号の以上6件は賛成多数で、いずれも原案どおり可決すべきものと、それぞれ決定しました。

以上で報告を終わります。